

- 問1 アラビア半島周辺などに広がる砂漠気候の地域では、全身を覆うような長袖で裾が長い伝統的な衣服が着用されています。このような形状の衣服が発達した、自然環境に関連する理由として最も適切なものはどれですか。 (2017年 高知公立入試 類似)
1. 強い日差しや砂嵐から身体を守るため
 2. 急激な気温の低下に備え、体温を逃がさないようにするため
 3. 標高が高い地域における薄い空気や寒さから身体を守るため
 4. スコールなどの激しい雨から身体が濡れるのを防ぐため
- 問2 2021年の統計において、ロシアとウクライナの2か国だけで世界の輸出シェアの約4分の1を占めていた農産物について、これらの地域で生産が盛んな理由を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鳥取公立入試 類似)
1. チェルノーゼムと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布し、大規模な栽培に適しているため
 2. 熱帯雨林気候に属しており、年間を通じて高温多湿で成長が早いいため
 3. ラトソルと呼ばれる酸性の土壌を改良し、灌漑施設を整えて生産しているため
 4. 地形が険しい山岳地帯において、斜面を利用した段々畑での栽培が主流であるため
- 問3 ロシアのシベリア地方で見られる景観について、その特徴を気候条件と関連付けて説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫公立入試 類似)
1. 厳しい寒さに耐えられる針葉樹が広がる、タイガと呼ばれる広大な森林地帯となっている。
 2. 一年を通じて高温多湿であるため、多種多様な常緑広葉樹が密生するジャングルとなっている。
 3. 降水量が極端に少ないため、乾燥に強い背の低い草がわずかに生えるステップとなっている。
 4. 夏に短期間だけ氷が溶け、苔類や地衣類が育つものの樹木は成長できない平原となっている。
- 問4 地中海性気候の地域では、その独特な降水パターンに合わせて工夫された農業が行われています。この地域で行われる農業の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜公立入試 類似)
1. 夏季の乾燥に耐えられるオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。
 2. 夏季の高温多湿な気候を利用して、一年に二回米を作る二期作が行われている。
 3. 年間を通じて冷涼で雨が多いため、根菜類やライ麦の栽培と家畜の飼育を組み合わせている。
 4. 広大な乾燥地帯を活かし、地下水路を用いた大規模な綿花栽培が行われている。
- 問5 ヨーロッパの高い緯度に位置するある都市の気候統計では、一年を通じて気温の変化が比較的穏やかであり、かつ降水量が特定の時期に偏らず、毎月平均して雨が降るといった特徴が見られます。この気候区分名と、その特徴をもたらししている主な要因の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 神奈川公立入試 類似)
1. 西岸海洋性気候に分類され、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受けている。
 2. 地中海性気候に分類され、夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬に降水が集中する。
 3. 熱帯雨林気候に分類され、赤道付近で強い日差しを受け上昇気流が盛んに発生するため。
 4. ツンドラ気候に分類され、一年の大部分が氷雪に覆われ、夏の間だけわずかに苔類が育つため。
- 問6 唯一神アッラーを信仰し、聖典である「コーラン」に従って生活を送る宗教について述べたものととして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 佐賀公立入試 類似)
1. 1日5回の礼拝を行い、断食の月には日中の飲食を控えるなど、宗教が生活の規範となっている。
 2. 牛を神聖な動物として大切にすため牛肉を食べず、カーストと呼ばれる身分制度の歴史的影響が残っている。
 3. 特定の神を持たず、修行を通じて心の安らぎを得ることを目的とし、東南アジアの大陸部で広く信仰されている。
 4. 神の愛と隣人愛を説き、日曜日には教会で礼拝を行い、パンとワインを用いた儀式を大切にしている。
- 問7 アフリカ東岸から出発し、アラビア半島を経由してインドへと向かう海上交易ルートにおいて、夏の時期に追い風を利用して北東方向へ進む船の状況を説明したものととして、正しいものはどれですか。 (2021年 兵庫公立入試 類似)
1. 海洋から大陸に向かって吹く湿った季節風を利用し、インド方面へと航行する。
 2. 大陸から海洋に向かって吹く乾燥した季節風を利用し、アフリカ方面へと帰還する。
 3. 一年中西から吹く偏西風の影響を避けるため、海岸線に沿って慎重に北上する。
 4. 赤道付近で発生するハリケーンの進路を予測し、その外側の強い風を利用して加速する。
- 問8 イスラム教の信者が生活の中で行う「礼拝」の習慣と、日本の公共施設における対応について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2020年 奈良公立入試 類似)
1. 礼拝は一日に5回行われ、世界中のどこにいても聖地メッカの方位を向く必要があるため、駅の床面などに方位を示す印が付けられることがある。
 2. 礼拝は週に一度、特定の曜日に行われれば良いため、公共施設では方位ではなく最寄りの宗教施設の地図を掲示することが一般的である。
 3. 礼拝は必ず日の出の方向を向いて行わなければならないため、施設内では常に東の方角を示す「三日月」のマークが用いられる。
 4. 礼拝は特定の時期にのみ義務付けられているため、案内表示は観光シーズンに限定して一時的に設置されるものである。
- 問9 アジア東部に位置するホンコンの雨温図を確認すると、夏季(6月~8月)に月間降水量が300mmを超える非常に湿潤な傾向が見られます。このような降水量の変化をもたらす、この地域特有の要因として最も適切な説明を選んでください。 (2016年 佐賀公立入試 類似)
1. 夏に海洋から大陸に向かって吹く季節風(モンスーン)が、湿った空気を運んでくるため。
 2. 赤道付近に位置しており、強い日射によって上昇気流が発生し、連日スコールが降るため。
 3. 一年中一定の方向に吹く偏西風が、暖流の影響を強く受けた湿った空気を運んでくるため。
 4. 高緯度に位置し、夏の間だけ移動性低気圧の影響を強く受けて降水が集中するため。
- 問10 世界の茶の生産と輸出に関する統計において、2000年から2020年の間に中国の生産量は世界シェアの約19%から約45%へと急増しました。しかし、輸出量のシェアを見ると、中国の割合は生産量のシェアほど高くはありません。この理由として、中国の茶業におけるどのような背景が考えられますか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. 自国内での茶の消費量が非常に多いため
 2. 生産した茶の大部分を工業用の原料として保管しているため
 3. 輸出处の品質管理基準が厳格化され、出荷が制限されたため
 4. 近隣諸国からの安価な茶の輸入が増え、自国製品の競争力が低下したため
- 問11 2022年の世界の穀物生産統計において、中国、インド、バングラデシュ、インドネシアといったアジアの諸国が生産量の上位4か国を独占している作物はどれか、次の中から選びなさい。 (2026年 大阪公立入試 類似)
1. 米
 2. 小麦
 3. とうもろこし
 4. 大豆

答え合わせ・解説

問1	答え 1 強い日差しや砂嵐から身体を守るため	乾燥帯に属する砂漠気候の地域では、日照時間が長く直射日光が非常に強いので、肌を露出するとかえって体温が上昇したり日焼けによるダメージを受けたりします。また、風によって巻き上げられる細かい砂（砂嵐）から皮膚を保護する必要があるため、全身を布で覆うゆったりとした形状の衣服が伝統的に用いられてきました。
問2	答え 1 チェルノーゼムと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布し、大規模な栽培に適しているため	ウクライナからロシア南部にかけては、チェルノーゼム（黒土）と呼ばれる非常に肥沃な土壌が広がっており、世界有数の小麦生産地帯となっています。2021年のデータでも、ロシアが輸出1位、ウクライナが5位となっており、世界市場において重要な役割を果たしています。
問3	答え 1 厳しい寒さに耐えられる針葉樹が広がる、タイガと呼ばれる広大な森林地帯となっている。	シベリア地方は冷帯（亜寒帯）に属し、冬の寒さが非常に厳しい一方で、夏にはある程度の気温上昇と降水が見られるため樹木が成長できます。この気候に適応した針葉樹が単一の樹種で広大な森を形成するのがタイガの特徴です。これに対し、樹木が成長できないほど寒冷な地域はツンドラ、乾燥が厳しい地域はステップや砂漠となります。
問4	答え 1 夏季の乾燥に耐えられるオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。	地中海性気候の地域では、夏に雨が極端に少なくなるため、水不足に強い作物の選定が不可欠です。オリーブやブドウ、柑橘類などは、葉が小さく硬い、あるいは根を深く張るといった特徴を持ち、強い日差しと乾燥に適応しています。また、雨の降る冬季には小麦を栽培するといった、季節ごとの降水量を考慮した土地利用がなされています。
問5	答え 1 西岸海洋性気候に分類され、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受けている。	ヨーロッパの大西洋沿岸など、高緯度の西側に分布する西岸海洋性気候は、暖流である北大西洋海流の上を吹き渡る湿った偏西風の影響を一年中受けます。このため、緯度のわりに冬の寒さが厳しくならず、降水量も季節を問わず一定になるといった特徴があります。一方で、赤道付近の熱帯は年中高温多湿であり、地中海性気候は夏に乾燥するため、降水のパターンが異なります。
問6	答え 1 1日5回の礼拝を行い、断食の月には日中の飲食を控えるなど、宗教が生活の規範となっている。	イスラム教では、聖典コーランに基づき、礼拝や「ラマダン」と呼ばれる月に行われる断食などの義務が定められています。生活全般が宗教的規範と密接に結びついているのが特徴で、豚肉の摂取や飲酒が禁じられていることもその一環です。
問7	答え 1 海洋から大陸に向かって吹く湿った季節風を利用し、インド方面へと航行する。	夏の間、ユーラシア大陸は海洋よりも温度が上がりやすいため、インド洋上の湿った空気が気圧の低い大陸側へと流れ込みます。これが南西から北東へと吹く夏の季節風となります。アフリカ東岸からアラビア半島を経てインド（南アジア）を目指す航路では、この風が追い風となるため、夏に出航するのが合理的でした。逆に冬は大陸から海洋へ向かって北東の風が吹くため、インドからアフリカ方面へ戻る際の追い風として利用されました。
問8	答え 1 礼拝は一日に5回行われ、世界中のどこにいても聖地メッカの方位を向く必要があるため、駅の床面などに方位を示す印が付けられることがある。	イスラム教の五行（信者が行うべき5つの義務）の一つである礼拝（サラート）は、一日のうち決められた時間に、常に聖地メッカの方角を向いて行われます。日本のような非イスラム圏では、自力で正確な方位を知ることが難しいため、東京駅のような主要な交通拠点では、床面に方位を示す指標を設置することで、外国人旅行者がスムーズに宗教儀礼を行えるよう環境整備が進められています。
問9	答え 1 夏に海洋から大陸に向かって吹く季節風（モンスーン）が、湿った空気を運んでくるため。	東アジアから南アジアにかけての地域では、大陸と海洋の暖まりやすさの差によって生じる季節風（モンスーン）が気候に大きな影響を与えます。夏季は湿った空気を運ぶ海風が吹き込むため降水量が著しく増加し、逆に冬季は大陸側から乾いた風が吹くため降水量が減少するという、季節による明瞭な変化が雨温図に表れます。
問10	答え 1 自国内での茶の消費量が非常に多いため	中国は世界最大の茶の生産国であり、20年間でそのシェアを大幅に拡大させました。しかし、中国国内には伝統的な茶文化が深く根付いており、膨大な人口による国内消費が極めて多いため、生産された茶の多くが国内で消費されます。その結果、ケニアやスリランカといった輸出依存度の高い国々と比較して、生産量に対する輸出量の割合が低くなるという特徴があります。
問11	答え 1 米	米は、高温多湿な気候に適しており、モンスーン（季節風）の影響を受けるアジア地域で集中的に生産されています。2022年の統計でも、上位4か国をすべてアジアの国々が占めているのが大きな特徴です。これに対し、小麦やとうもろこしはアジア以外の国々も上位にランクインしています。